



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月10日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7989 URL <http://www.blind.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)竹中 伸也 TEL 03-5484-6142  
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	9,825	4.1	749	8.4	757	7.4	341	△2.4
23年12月期第1四半期	9,434	△6.3	691	78.5	704	73.9	350	201.5

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 549百万円(27.8%) 23年12月期第1四半期 429百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	17.56	—
23年12月期第1四半期	17.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	44,475	30,875	60.2
23年12月期	43,425	30,446	60.8

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 26,789百万円 23年12月期 26,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,700	3.6	770	△5.4	750	△11.2	220	△40.9	11.30
通期	38,900	4.6	1,690	9.2	1,650	4.0	590	△3.6	30.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期 1 Q	20,763,600株	23年12月期	20,763,600株
24年12月期 1 Q	1,300,305株	23年12月期	1,300,285株
24年12月期 1 Q	19,463,305株	23年12月期 1 Q	19,463,778株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州債務危機や原油高の影響、これらを背景とした海外景気の下振れや、雇用情勢の悪化懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅着工戸数および首都圏のマンション販売戸数は持ち直しの動きがみられますが、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、昨年リニューアルしたロールスクリーン「ラルク」やタテ型ブラインド「ラインドレープ」の拡販に加え、新規販促物による提案等による売上の拡大を図るとともに、引き続き節電対策を含めたコスト低減活動や将来の市場開拓に向けた海外展示会への出展等にも取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である「くし歯式駐車場装置パズルタワー」の全面見直しに向けた取り組みに着手するとともに、改造・改修工事の営業活動を強化し、受注の拡大と安定した利益の確保に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、産業用機械向け販売を中心にマーケティング活動を強化し、お客様の要求する製品の発掘と開発に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は9,825百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は749百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益は757百万円（前年同期比7.4%増）、四半期純利益は341百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## [室内外装品関連事業]

昨年リニューアルしたロールスクリーン「ラルク」やタテ型ブラインド「ラインドレープ」の拡販に加え、これらの製品に高機能でカラフルな人気のカラーシリーズ「マカロン」の遮光生地10色を追加発売いたしました。また、ライフスタイルごとに多彩なコーディネートを紹介した「ウィンドウ コーディネートブック」を作成し、新たな提案活動を行ってまいりました。

さらに、ドイツで開催された業界最大級のシャッター・ブラインド・門扉の国際見本市である「R+T2012」に出展し、今後の海外事業展開の布石として、日本製品のブランド認知度向上を図ってまいりました。

以上により、売上高は8,451百万円（前年同期比4.6%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、633百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

## [駐車場装置関連事業]

厳しい受注環境が続く中、新規物件は減少したものの、保守ならびに改造・改修工事が増加したことにより、売上高は648百万円（前年同期比8.5%増）となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、継続的な原価低減活動等により、76百万円（前年同期比97.7%増）となりました。

## [減速機関連事業]

産業用機械向け販売を中心に、積極的な提案型の営業活動を展開しましたが、特殊減速機の受注が減少したことにより、売上高は725百万円（前年同期比4.1%減）となりました。営業利益につきましては、原価低減と生産性の向上に努めた結果、39百万円（前年同期比42.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は44,475百万円で、前連結会計年度末と比較し1,050百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は27,070百万円で、前連結会計年度末と比較し842百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,404百万円で、前連結会計年度末と比較し207百万円の増加となりました。これは主に、保有株式の時価の上昇等により投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は13,599百万円で、前連結会計年度末と比較し620百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、賞与引当金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は30,875百万円で、前連結会計年度末と比較し429百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加および四半期純利益によるものであります。なお、自己資本比率は60.2%と、前連結会計年度末と比較し、0.6ポイントの減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の復興に向けた各種の政策効果などを背景に景気が持ち直していくことが期待されますが、海外景気の下振れリスクや、電力供給の制約の影響など、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、引き続きお客様の多様なニーズに応えるため、積極的な製品開発をはじめ、さらなる売上向上及び収益確保に努めてまいります。

これらを踏まえ、平成24年12月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成24年2月10日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,296,329	7,811,947
受取手形及び売掛金	11,735,415	12,520,175
商品及び製品	731,265	929,526
仕掛品	1,280,026	1,259,569
未成工事支出金	173,637	262,111
原材料及び貯蔵品	2,862,042	3,021,339
その他	1,186,394	1,304,761
貸倒引当金	△37,083	△38,583
流動資産合計	26,228,026	27,070,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,708,677	12,766,022
減価償却累計額	△7,907,777	△7,950,417
建物及び構築物(純額)	4,800,899	4,815,604
土地	7,384,285	7,384,285
その他	13,210,814	13,349,062
減価償却累計額	△12,019,445	△12,107,604
その他(純額)	1,191,369	1,241,458
有形固定資産合計	13,376,554	13,441,347
無形固定資産	266,709	279,397
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,090	1,391,613
その他	2,548,271	2,358,181
貸倒引当金	△142,946	△65,603
投資その他の資産合計	3,554,415	3,684,191
固定資産合計	17,197,680	17,404,936
資産合計	43,425,706	44,475,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,681,527	7,109,699
未払法人税等	352,461	404,774
賞与引当金	179,317	522,240
役員賞与引当金	48,660	13,413
製品保証引当金	671	2,436
その他	1,800,465	1,682,643
流動負債合計	9,063,104	9,735,206
固定負債		
退職給付引当金	3,529,875	3,498,039
役員退職慰労引当金	278,331	264,529
その他	107,562	102,012
固定負債合計	3,915,768	3,864,581
負債合計	12,978,872	13,599,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,000
利益剰余金	18,377,168	18,621,543
自己株式	△666,077	△666,086
株主資本合計	26,581,090	26,825,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△162,965	△20,643
繰延ヘッジ損益	631	3,809
為替換算調整勘定	△34,007	△19,354
その他の包括利益累計額合計	△196,341	△36,188
少数株主持分	4,062,084	4,086,728
純資産合計	30,446,833	30,875,996
負債純資産合計	43,425,706	44,475,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	9,434,617	9,825,301
売上原価	5,423,496	5,668,505
売上総利益	4,011,120	4,156,796
販売費及び一般管理費	3,320,067	3,407,409
営業利益	691,053	749,386
営業外収益		
受取利息	875	978
受取配当金	1,132	1,132
不動産賃貸料	11,115	10,295
その他	28,135	24,283
営業外収益合計	41,258	36,689
営業外費用		
支払利息	3	4
手形売却損	5,878	8,262
売上割引	16,490	16,142
その他	5,102	4,601
営業外費用合計	27,475	29,010
経常利益	704,836	757,065
特別利益		
固定資産売却益	900	—
貸倒引当金戻入額	4,325	—
特別利益合計	5,225	—
特別損失		
固定資産除却損	639	12,204
投資有価証券評価損	25,141	—
投資有価証券売却損	—	15
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,300	—
特別損失合計	27,080	12,220
税金等調整前四半期純利益	682,981	744,845
法人税、住民税及び事業税	368,365	417,653
法人税等調整額	△56,636	△47,344
法人税等合計	311,729	370,308
少数株主損益調整前四半期純利益	371,251	374,537
少数株主利益	21,052	32,845
四半期純利益	350,199	341,691



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	371,251	374,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,000	156,698
繰延ヘッジ損益	3,716	3,178
為替換算調整勘定	8,582	14,652
その他の包括利益合計	58,298	174,529
四半期包括利益	429,550	549,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	406,554	501,844
少数株主に係る四半期包括利益	22,995	47,221

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,080,228	597,687	756,701	9,434,617	—	9,434,617
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	15,741	15,741	△15,741	—
計	8,080,228	597,687	772,442	9,450,358	△15,741	9,434,617
セグメント利益	624,755	38,855	27,441	691,053	—	691,053

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,451,273	648,458	725,568	9,825,301	—	9,825,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	25,602	25,602	△25,602	—
計	8,451,273	648,458	751,171	9,850,904	△25,602	9,825,301
セグメント利益	633,440	76,823	39,122	749,386	—	749,386

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。